



県本部第1回中央委員会

日時 2月18日(木) 15:00
 場所 水戸市・自治労会館
 内容 ・2021春闘方針
 ・当面の闘争方針

自治労茨城

水戸市桜川 2-3-30 自治労茨城県本部
 Eメールアドレス kenhonbu@j-ibaraki.jp
 編集発行人 = 千歳益彦
 毎月5の日発行
 定価 = 1部5円(組合費に含む)
 印刷所 = コトブキ印刷株式会社

2021春闘

賃金も雇用も改善めざせ

たたかう意思をスト批准で示そう

2021春闘は、コロナ感染拡大の影響を大きく受け、経済状況の悪化により、賃金・雇用情勢は、最悪の状態となっております。経営側は、早くも経営危機を前面に、首切りや賃金引き下げなど、真つ

先に労働者にその犠牲を押し付けようとしています。しかしこの間、90年代からの20年余り、日本経済・社会は、「雇用か賃上げか」と労働者に迫りながら、雇用も劣化させ、平均賃金も低下させ



に労働条件の改善による消費の喚起・拡大と、分配構造の転換につながり得る賃上げに取り組み、「感染症対策と経済の自律的成長の両立」と「社会の持続性」の実現をめざすとしています。

これまで、新自由主義政策のもとで構造改革が進められ、福祉や医療などの社会保障は一方的に削減され、将来に不安を抱える社会がつけられてきました。特に、公務員はその矢面に立たされ、職場は合理化のオンパレード、賃金も引き下げられ、まるで諸悪の根源が公務員にあるがごとき公務員バッシングが続いてきました。コロナ感染拡大を契機に医療・公衆衛生・福祉・介護・保育・教育の現場はさらに大変な状況になっていま

す。2021春闘は、こうした流れを変える重要な闘いです。経済環境の悪化や経営側の賃下げ、首切りに負けないためにも「賃上げも雇用も」の要求を高く掲げ、また、公共サービスにもっと投資を実現することが求められます。また、春闘を精一杯闘う中で、必ずやってくる総選挙で政権交代に勝利することが政治を変え、労働を中心とした安定した福祉型社会を実現できるといえます。

そのためにも私たちが闘う姿勢を示すストライキ批准投票を圧倒的に成功させることが重要です。各単組で最大限の取り組みをお願いします。

2021年今年はどうなる!?

・政権交代の年に

2021年は丑(うし)年。動物の牛はのんびりしているイメージですが、昔から田畑を耕したり、ものを運んだりするのに欠かせない、大切な存在でした。コツコツ努力し、誠実さや粘り強さを表す象徴といわれます。

十二支と十干(じっかん)を併せた、2021年の本来の干支は「辛丑(かのとうし)」。陰陽五行説では「統制の強化」を意味

するとか。なんだか、自分たちと意見の違う人を排除したがる、菅義偉首相の政治姿勢をほうふつとさせます。前回の丑年(2009年)には、民主党が衆院選で大勝して政権交代を実現しました。今年も10月までには必ず総選挙があります。統制や排除に熱心な菅政権を交代させるため、共闘の力で野党がどれだけ頑張れるかが勝負どころでしょう。

・安全なワクチンを

12年前の新型インフルエンザの流行時には、全国で多くの人が死亡するなど感染が拡大。この時は約7千万人分のワクチンが用意されました。昨年から世界で猛威を振るってきた新型コロナウイルスのワクチンと治療薬はいつできるのか――各国で開発競争が激しくなっていますが、安全性はきっちり担保してほしいですね。

感染が広がる米国や欧州など諸外国からの訪日が可能なのでしょうか。開催方法を含めて慎重な判断が求められます。

2021年は東日本大震災からちょうど10年です。犠牲者は震災関連死を含めて2万2千人以上。いまなお避難を余儀なくされている人が全国で4万人を超えています。東京電力福島第1原発の事故は暮らしや環境を破壊する一方、国のエネルギー政策見直しを求める大きな世論を作りました。今年も福島原発被害千葉集団訴訟第1陣(2月19日)や東海第2原発訴訟(3月18日)をはじめ、各地で原発のありようを問う判決が続きます。

2021年春闘は、精一杯闘う中で、必ずやってくる総選挙で政権交代に勝利することが政治を変え、労働を中心とした安定した福祉型社会を実現できるといえます。

【2021春闘取り組みスケジュール】

月	単組	県本部	中央(本部)
1月	要求アンケート配布・回収 執行委員会 (要求アンケート集約・要求書作成) 職場討議	執行委員会 1月25日 春闘討論集【中止】 (第1次春闘オルグ) 単組代表者会議【中止】	県代表者会議 1月14日 中央委員会 1月28日
	執行委員会・中央委員会 (要求書の決定)		
	ストライキ批准投票	スト批准集約日	スト批准報告
	要求書提出		全国統一行動
2月	※遅くとも2月末迄に提出	執行委員会 2月18日 中央委員会 2月18日 春闘総決起集会 2月18日	拡大闘争委員会 2月26日
		(第2次春闘オルグ)	
	要求書回答指定期日	戦術闘争指令	対政府交渉
	統一交渉ゾーン	連合茨城決起集会	中央行動
3月	自治労統一行動日	臨時大会	自治労統一行動
	執行委員会 (回答内容確認・交渉)		対政府交渉
	執行委員会 (交渉内容確認)		全国統一行動
	【協約(確認書)締結】		

年間の闘いは春闘から 2月4日~12日はスト批准投票期間

「公共サービスに もっと投資を！」

自治労は、2021春闘で「公共サービスにもっと投資を！」というスローガンを掲げています。十分なサービスを提供するためには人や物、お金など必要な資源をしっかりと充てなくてはなりません。公共サービスの確立や充実のため、公共サービスの重要性や役割をもう一度確かなものに、支える側の労働者の処遇改善や担い手の確保を求めていきます。

参加する春闘

自治労ストライキ 批准投票用紙

1年間のストライキ指令権を中央闘争委員会に委譲します

批准投票 ○×で表示

賛成の人は○、反対の人は×を記入します。
 黒○×のないものは無効です。
 黒の投票結果は中央本部でまとめて発表します。

全日本自治労連労働組合

中央闘争委員長 川本 淳

